



金子ゆかり

長野県議会議員

新緑の候となり、例年ならば明るく初夏を感じるこの頃なのですが、思いもかけない東日本大震災の余波は全国に及び、諏訪も例外ではありません。被災地域のニュースに接する度に胸の潰れる思いをしながらも、被災者、被災地を支えるためにも、私たちが力を合わせて何とかこの難局を乗り切りたいとの思いでおります。

福島原発の影響が各種産業に及ぶ中、中部電力浜岡原発の停止をはじめ、長野県政にも厳しい判断が求められます。この先の数々の課題の重さを思い、再び身の引き締まる思いです。まだまだ浅学、かつ微力にて、皆様から従来通りご教示、ご指導を頂きながら精一杯職務に邁進して参る所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



平成十九年からの長野県議会議員二期目の任期を四月二十九日に終了致しました。この四年間、重責を果たしてこることができましたことや、私の議員活動、県政報告会、後援会の各種イベントなどは様々な場面で支えて下さいました皆様のお陰と心より厚く御礼申し上げます。

また、去る四月一日告示日には、無投票にて再選頂き、これも一重にご支援下さいました多くの皆様のご指導とご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

長野県議会 2月定例会報告

阿部知事の初めての23年度当初予算、一般会計総額8464億2006万3千円、特別会計2166億5916万3千円、企業特別会計132億5417万8千円を可決しました。選挙公約の4つの政策の柱「教育・子育て先進県の実現」「産業力、地域力の強化」「暮らしの安心確保」「県民主役の自立した県政の実現」を強く意識したという知事に対し、本会議にて創志会を代表して2時間半にわたり代表質問を行ないました。

前年度当初比で1.8%の減額、県債発行を抑制した緊縮予算ですが、厳しい雇用情勢やTPPはじめ日本の置かれた経済環境の将来像を慮ると今後の県政運営には注目せざるを得ません。

知事の選挙公約である、「中期総合計画の前倒し改定」や「子どもの権利条例」「中小企業振興条例」「障害者差別禁止条例」「食品 安全・安心条例」(いずれも仮称)などの制定、リニアをはじめとした公共交通の将来像や、中高一貫校や県立短大の4年制化と関係する県立の高等教育機関の再構築など、様々な課題を知事、教育委員長などとやり取り致しました。

また、長野県初の女性副知事、高田(旧姓使用で加藤)さゆりさん等の人事案件を承認し、「長野県暴力団排除条例」などを可決して3月11日に閉会致しました。



加藤(高田)副知事

本会議終了後に長野県議会、議会棟で東北・関東大震災の大きな揺れを体感しました。本年度耐震予算を長野県庁本館につけたばかりですが、災害対応、防災施策、意識啓発が本年度重要なテーマとなることと思います。皆で真剣に考えたいと思います。



意見書を国へ提出しました

- 若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書
- 子宮頸がん予防ワクチン等の定期接種化を求める意見書
- 米の戸別所得補償制度の見直し等を求める意見書
- 郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書
- 行政書士への行政不服申し立て手続きの代理権付与を求める意見書
- 脳損傷者支援法(仮称)の速やかな制定等を求める意見書
- 精神障害者保健福祉手帳の所持者に対する交通運賃割引を求める意見書 など



2/23.地元から多くの皆さんが県議会の様子を傍聴し、議会を間近に見て頂くことができました。遠路ご来聴ありがとうございました。

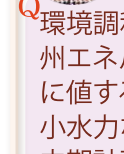
<金子ゆかり代表質問から> インターネットで議会の録画中継をご覧頂けます
<http://www.pref.nagano.jp/gikai/tyousa/movie/library2302.htm>

中期総合計画を計画について



Q 知事の描く20年後の長野県のあるべき姿とは?

A 「もの」の概念でない領域で豊かさを実感できる社会、すべての人に居場所と出番があり、健康 長寿、環境調和の持続可能なベースのもとに経済や地域が元気でいきいきした社会、をめざしたい。

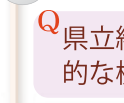


Q 環境調和の長野県について「信州エネルギー自給戦略」は挑戦に値するが、バイオマス、太陽光、小水力など発電の具体的目標は中期計画にどう掲げるのか?



A 国は再生可能エネルギーの一次エネルギーに占める割合を、2020年までに6%から10%に引き上げる 目標を掲げる。県として、長期的視野から定量的目標や民間協働による導入促進策など検討し、エネルギーの地産地消に取り組む。計画への反映は総合計画審議会の議論を踏まえ検討する。

超高齢少子社会について

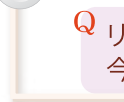


Q 県立総合リハビリテーションセンター的な機能は南信にも必要では?

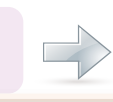


A 「地域リハビリテーションのあり方検討会」、その医療圏ごとの協議会での議論を踏まえて具体的方針を出したい。

行政改革と地方分権(公共交通施策)について



Q リニア中央新幹線に関する今後の運動の姿勢について



A リニアの経済 効果や利便性が広範囲にわたるよう国に対して必要な要請をしていく。

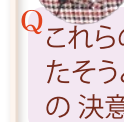
知事の政治信念と姿勢について



Q 公約した4条例に関する知事の思いを伺う



A 条例策定のプロセスも大切に円卓会議の設置など県民参加の視点を大切にしたい。

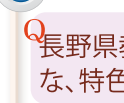


Q これらの公約を果たそうとする知事の決意の表明を



A 「歴史の転換点において、私は長野県のリーダーとして、県政運営の舵を切り、21世紀型社会を実現するため、将来のビジョンを示し、県民の皆様と「共に悩み、共に考え、共に行動し」様々な困難に直面しても果敢な決断を行い、しっかりと実行していく覚悟です。

人材育成と教育について



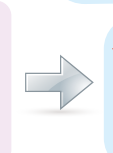
Q 長野県教育で環境や実態に則した自由な、特色ある取り組みができないか?



A 学校が自校の課題を踏まえ地域の資源、教育力を活用し実践することが肝要。



Q 学校を運営する責任者としては校長任期が2年では短いと感じる



A 全国平均と同じ2.6年だが、高校再編など課題によっては4、5年のケースもあり、ご指摘を踏まえ、今後必要に応じて柔軟に対応していきたい。

- その他、農業とTPPについては園芸作物の生産力、海外展開の強化の答弁を得、観光資源における景観の重要性、商業圏の構築についてなど質問しました。

金子ゆかり後援会 会長あいさつ



金子ゆかり後援会 会長 阿部脩三

四月の選挙におきましては、皆様の熱いご支援を頂き、金子ゆかりの三期目を無投票にて当選させて頂いたことができました。これも一重に後援会をはじめ、ご推薦頂きました二百を超える各種団体の皆様、多くの応援団の皆様のお陰様と心より感謝申し上げます。

東日本大震災の影響は地域課題も山積しており、三期目の中堅議員として地元の声をしっかりと受け止めて、おおいに活躍してくれるものと期待しています。

今までも同様、地元ゆかりんを一層盛り立て、叱咤激励いただきますよう今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



お知らせ

◆ 公約致しました定例会毎の「創志会諏訪支部便り/ゆかりんの県政報告」も臨時発行を含め十八回を数え、今回の十六号をもって完結を迎えます。

公職選挙法に則り、選挙直前の発行を控えさせて頂いたため、二月議会報告が遅くなりましたことをご了承ください。

◆ 今期は、創志会から衣替えをし、「県政ながの」を立ち上げ新しい門出をすることとなりました。「県政ながの」でも政務調査会長を任命され、四月三十日より活動を開始しております。臨時議会の正副議長の選任、委員会所属など詳細は次回からの新しいシリーズにてご報告する予定です。今後ともご愛読くださいますようお願い申し上げます。